

三体千字文を書く (36)

締切り 十二月十九日 (必着)



奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部ⅡB5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部Ⅱ半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六

(一九八一)年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、憲照先生の穩健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間学びましたが、今回はその続きです。

◆原点に返って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二〜五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

化 被 草 木
賴 及 萬 方

徳化はあまねく草木におよび、王化はすべての国々に及ぶ

準初段から六段まで

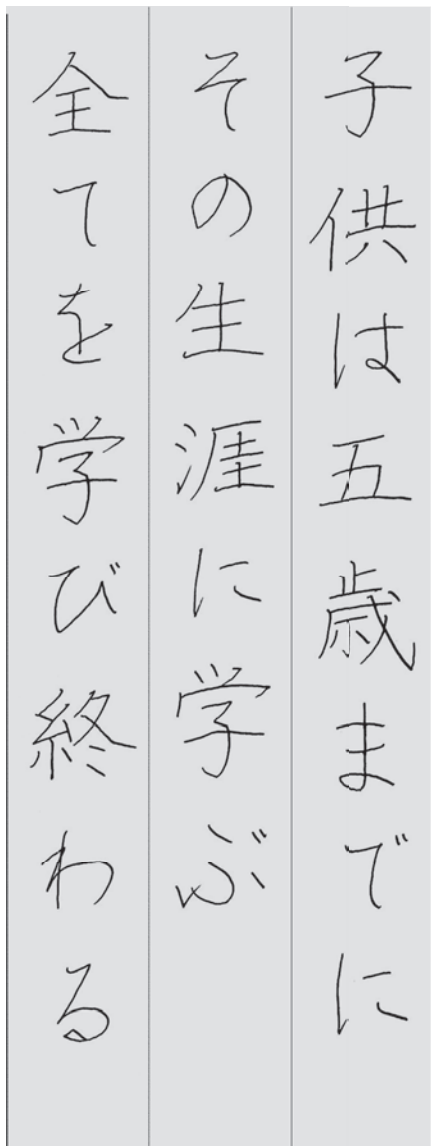
新入から1級まで

〔解説〕



◎ペン字のよい線というのは、明快な線が出ないと、いかに形がよくてもペン字特有の魅力的な美しい字と言えない。速いだけでなく、遅い線もあり適当な速度の加減が大切。

▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

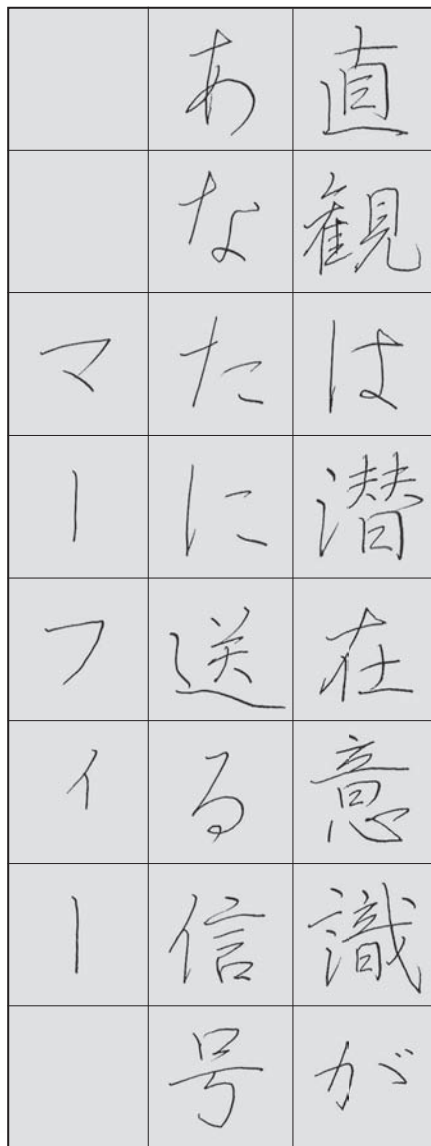


おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

★直観は：（書体Ⅱ行書）

ジョセフ・マッフィー（一八六〇～一九二〇）
アイルランドの宗教者・著述家
人間が本来持っている秘めたる力、それが潜在能力です。それは誰にでもあり、自然から与えられた最高の力です。我々の行動は、本人の知らないところで働き出し、直観の方が正しい場合が多いと言っています。
更に、直観は心が澄んでいる人には幸福として訪れると教えています。

◆1月課題予告（楷書）

調べ高ければ
聴く者稀なり
新井白石

★子供は：（書体Ⅱ楷書）

フレーベル（一七九九～一八五二）
ドイツの教育学者
幼児期の教育がその人の生涯にとっていかに重要な役割を果たすか、を説いた言葉。フレーベルがここで「学ぶ」と言っているのは、数をかぞえるとか、文字を覚えるといった教育のことではなく、子供の遊び等の創造的活動が人間形成に大きな影響を与えるという事でしょう。

◆1月課題予告（行書）

ちしゃりよ
智者の慮は
必ず利害に雑う

孫子

▼教範・書範Ⅱ楷書

▼師範Ⅱ行草または草書

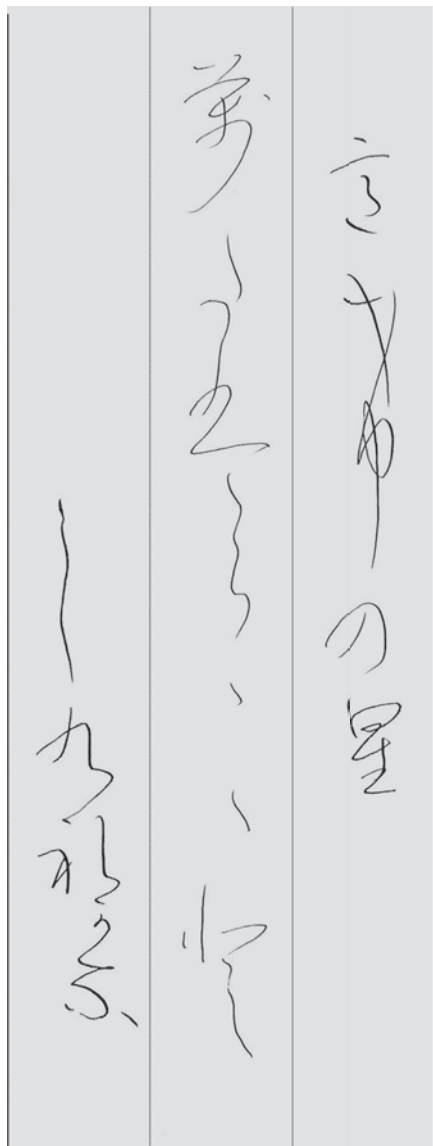
一般部かな課題

締切り 12月19日(必着)

準初段から六段まで

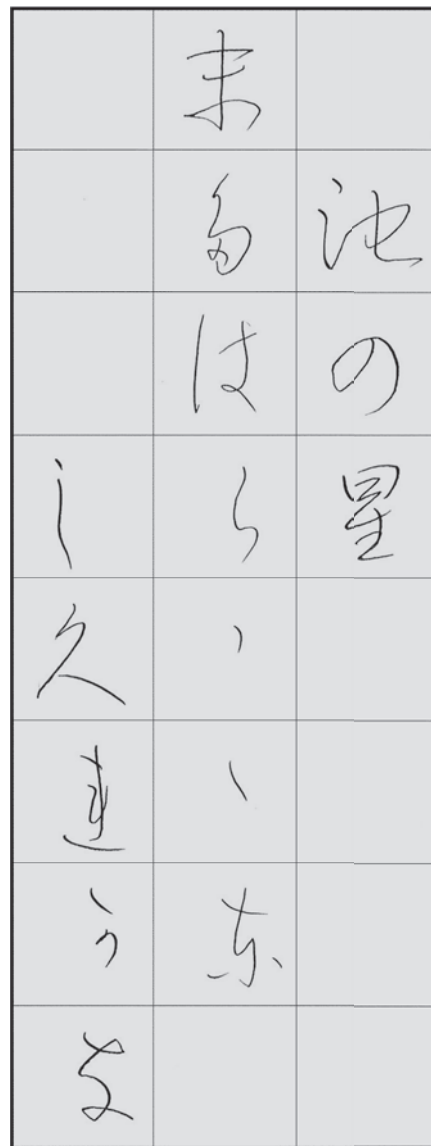
新入から1級まで

意希 萬多盤
池の星またはらはらと時雨かな



末多 東之久連可奈
池の星またはらはらと時雨かな

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆1月課題予告

鉢たたき米ぬ夜となれば朧なり
(向井去来)

【解説】縦線も横線も、漢字の楷書のようになかたい線ではなく、真っ直ぐでも太い・細い線を使い、柔らかく書く。

意 多 盤 東 奈
い 多 盤 東 奈
い 多 盤 東 奈
い 多 盤 東 奈
い 多 盤 東 奈

【古筆参考】

【句解】時雨しぐれが通り過ぎて池の面が静かになり、映った星がきらめき出すと間もなく、またその星が消えてはらはらと時雨しぐれが降ってきた。
【鑑賞】『白陀羅尼』宝永元年(一七〇四)に初出なので、元禄末頃の作。陰晴定めがたい時雨しぐれの空模様を、見事にとらえた好句である。

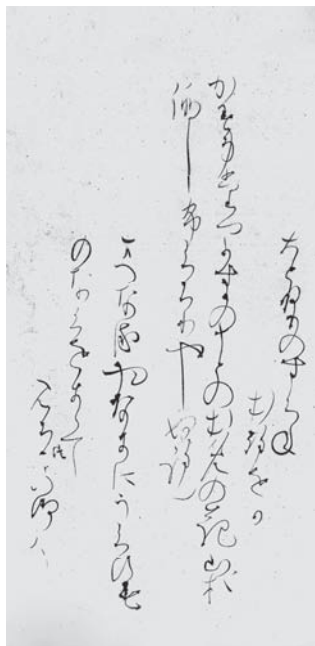
池の星またはらはらと時雨しぐれかな
(立花北枝)

締切り 十二月十九日（必着）

築瀬舟香書

〔古筆参考〕

こう し ぎれ
香 紙 切



大とねりのすくね^{利年}
 かす^春みた^身た^堂つか^可すが^可の^左さとの^免むめ^可の花^於山^お
 ろ^路しく^布くち^久り^利やし^支ぬ^支覧^久
 ま^万へ^流なる^支や^支なぎ^久に^春う^ひぐ^す
 の^久なく^支を^支き^て

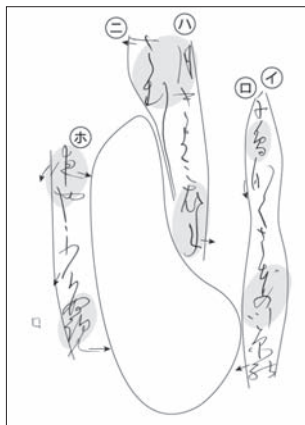
み^見ち^{つ(な)}
☐の卸は^ハ
☐^ス

千鳥鳴くさほの川原の月きよみ
衣手さむし夜や更けぬらむ

【歌意】千鳥の鳴く佐保の河原に照る月が清澄だからと、月を眺めて過ごしているうち、袖が寒く感じられてくる。いつの間にか夜が更けてしまったものか。

〔出典〕
金槐きんかい和歌集

〔解説〕



- ①と㊦、①と㊧、①と㊨、①と㊩、㊰と㊱それぞれ呼応。

● 密の動き、行の膨らみ、ゆれ、

○余白（間）大切。

- ・ ↓ の方向大切。(行間の間をしめる)

◆ 1 月課題予告

花も散り人も都へかへりなば
山さびしくやならんとすらん
(山家集)

締切り 12月19日(必着)

自由課題

- ◆ 今月は、文章も自由といたします。
- ◆ 皆さんのアイデアを生かして自由
に創作して下さい。
- ◆ バラエティに富んだ、個性豊かな
年賀状をお待ちしています。

謹んで初春の
およろこびを
申し上げます
本年もご指導の程よろしく
お願いいたします
平成二十九年元旦 春野すみれ

謹んで初春の
およろこびを
申し上げます
本年もご指導の程よろしく
お願いいたします
平成二十九年元旦 春野すみれ

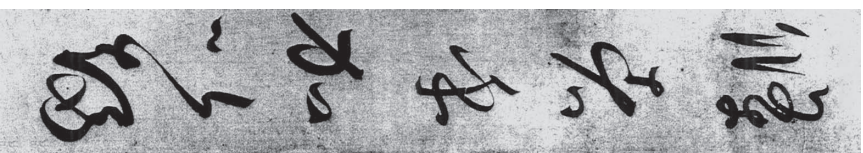
横書き課題

現行の太陽暦(グレゴリオ暦)は、
日本では明治6年から採用された。
富山県黒部市 氏 名

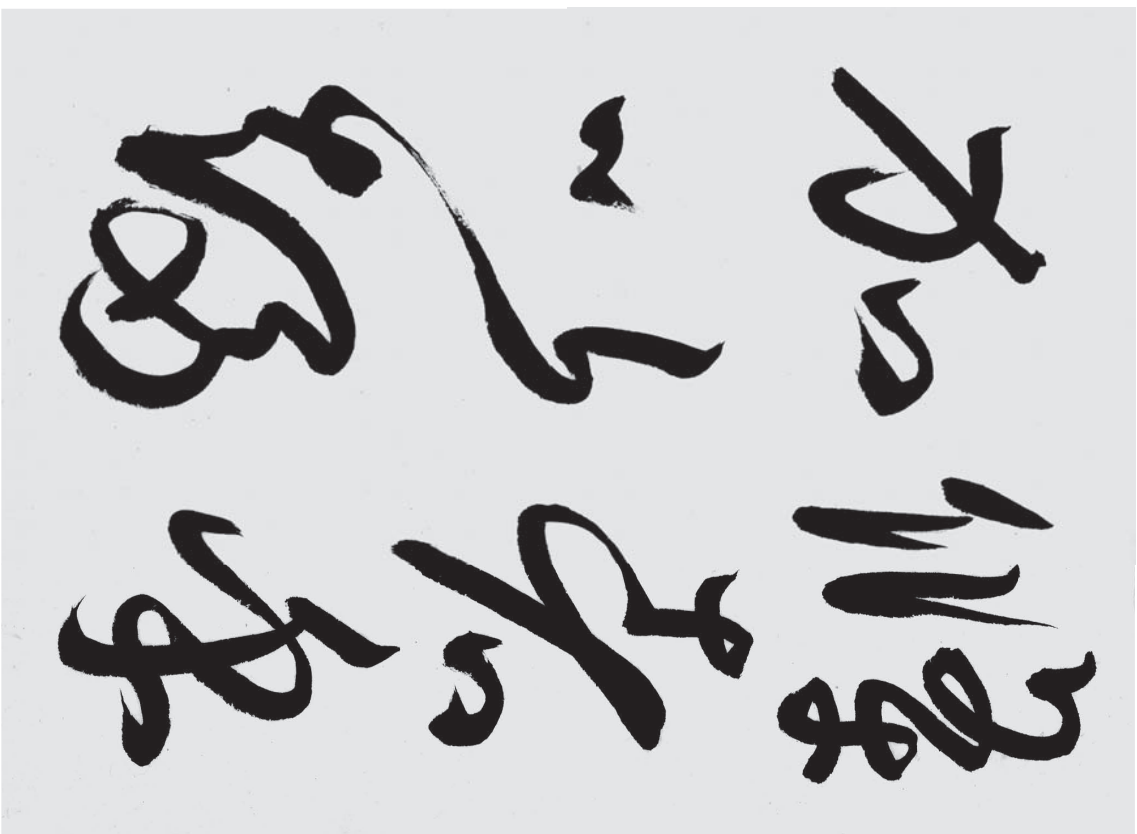
※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 12月19日(必着)



條 者 平 加 以 趣



準初段から師範まで

奥村暢之 臨
おくむら のぶゆき



新入から1級まで (行書)

須田一葉 書
すだ いちよう

〔出典〕 書譜 (687) 〔筆者〕 孫過庭 (648?~703?)

〔読み〕 条を (分かつがごとき) 者なるを (知らんや。) 加 以 (更に) 趣き

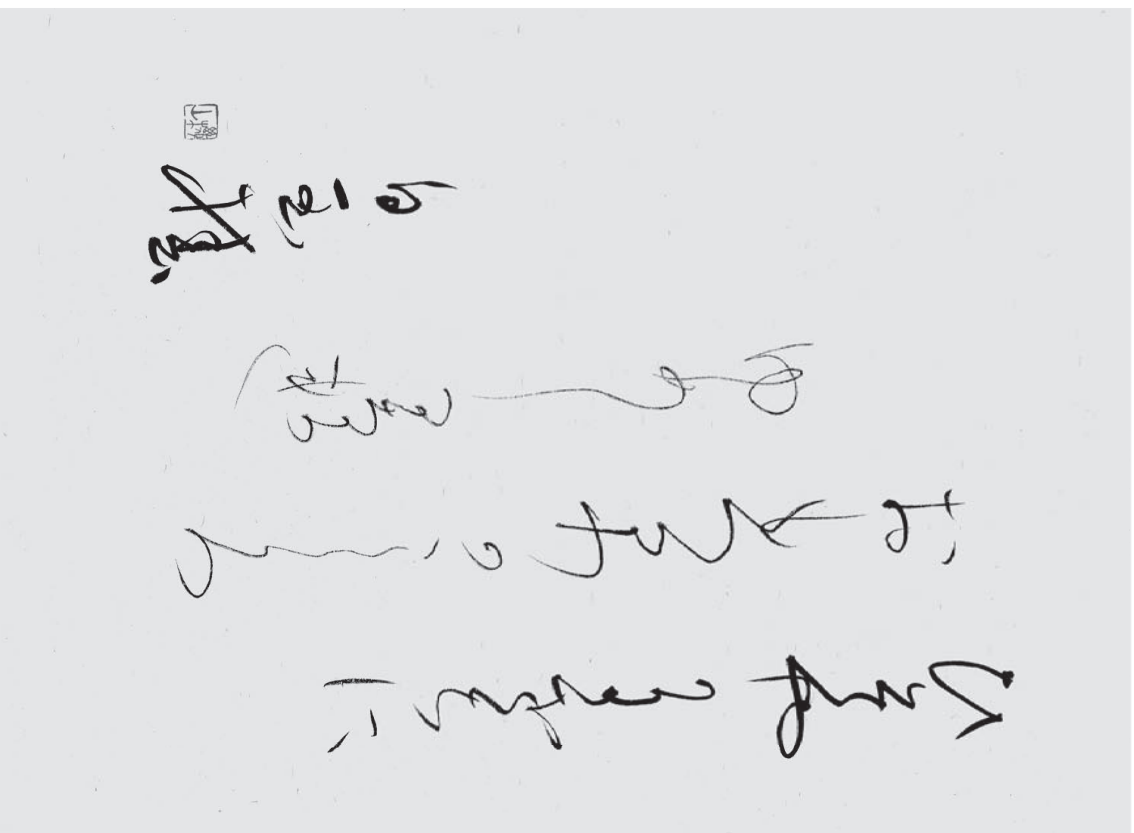
〔読み〕 夜の雪佳趣あり

〔大意〕 夜の雪景色は格別に風情がある

一般部毛筆かな課題

締切り 12月19日(必着)

※検定試験三段コース以上を兼ねる。



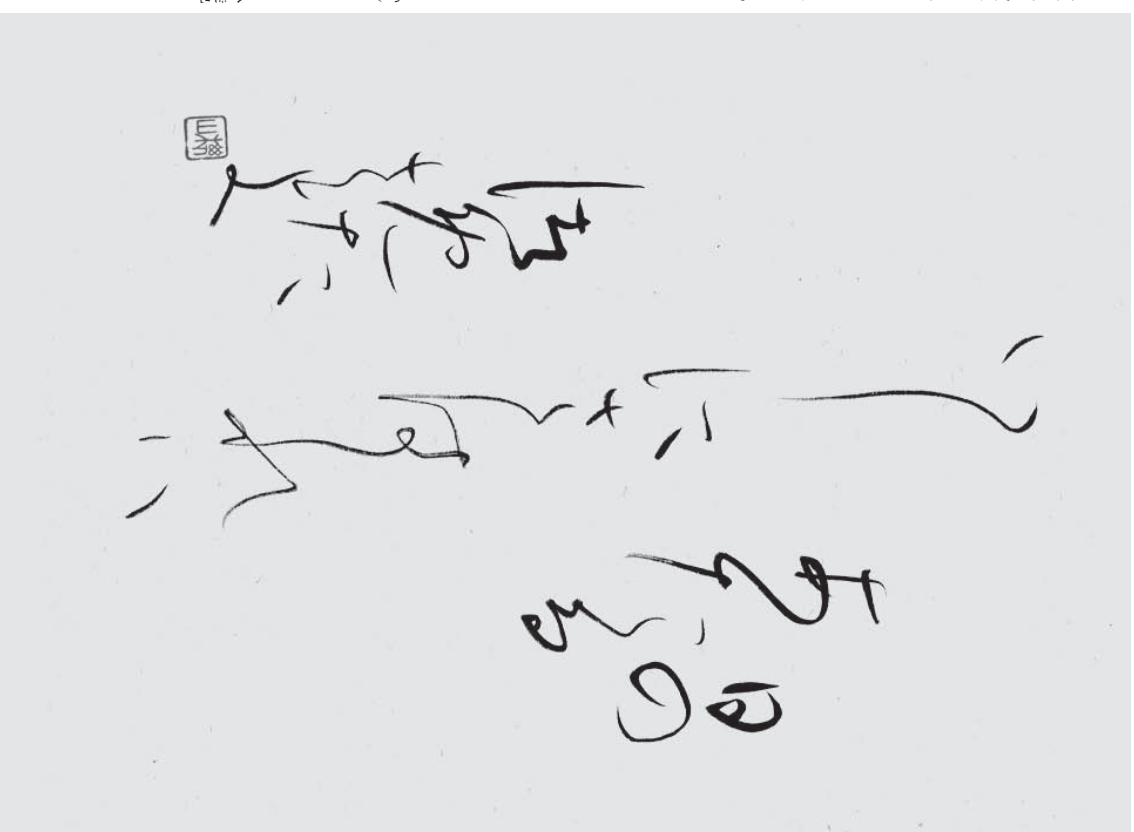
ひそやかにせちにおもへるわがこころ
ゆめ知るなかれ白玉椿

〔出典〕 岡本かの子

〔歌意〕 ひそかに、切実に思いつめているわたしの心を、決して知ってはならないぞ。白玉椿よ。

準初段から師範まで

※検定試験1級コースを兼ねる。



日のあたる石にさはれば冷たさよ

〔出典〕 正岡子規

〔句意〕 「冷たし」 晴れた冬の日、日向はぽかぽかと温かだが石にさわってみると氷のように冷たいのである。石の冷たさに季節を実感した句。

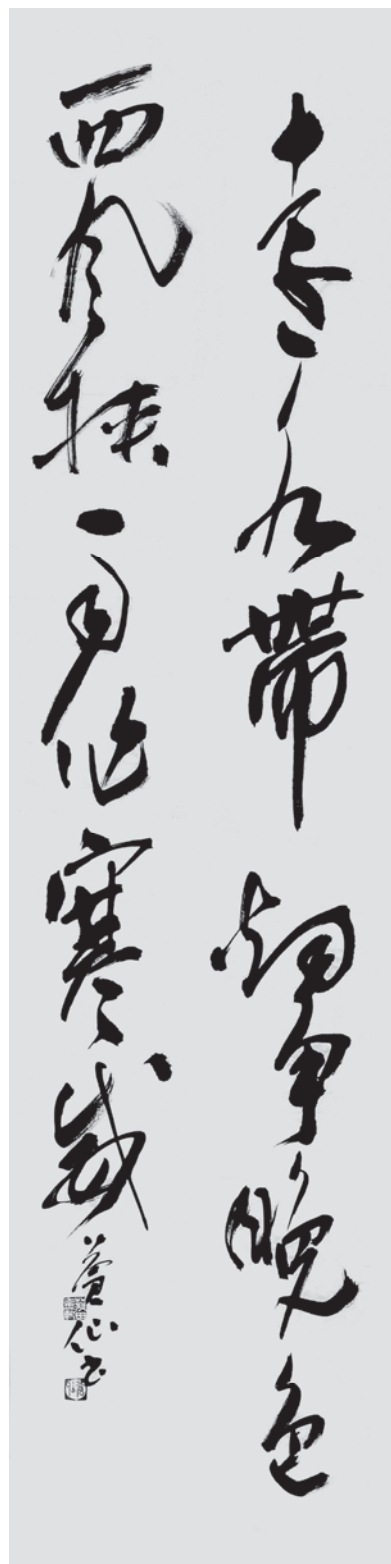
新入から1級まで

浅井機山先生書

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題

締切り 十二月十九日（必着） 半切（一二六cm×三五cm）



荻田蒼仙書

えんすいけむりをおびはんしよくをあらそい
遠水帯 煙草の味 晩色
せいふうあめをさしはさみかんいをなす
西風挟み雨作寒威

〔大意〕煙を帯びた遠方の水は急に夕景を催し、雨を送り来る西風は寒気を逞しくするのである。

初出品の方へ

支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〔条幅解説〕先月より運腕を大きく大胆に書いてみました。含墨を豊かにして深みを考えました。滲み過ぎと思ったら即座に拭きとること。

早くもクリスマスソングが流れる頃になりました 毎年恒例となりました冬のギフトを少し早いけどサンタの代わりにお届けします

（ご自分の氏名）

・印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

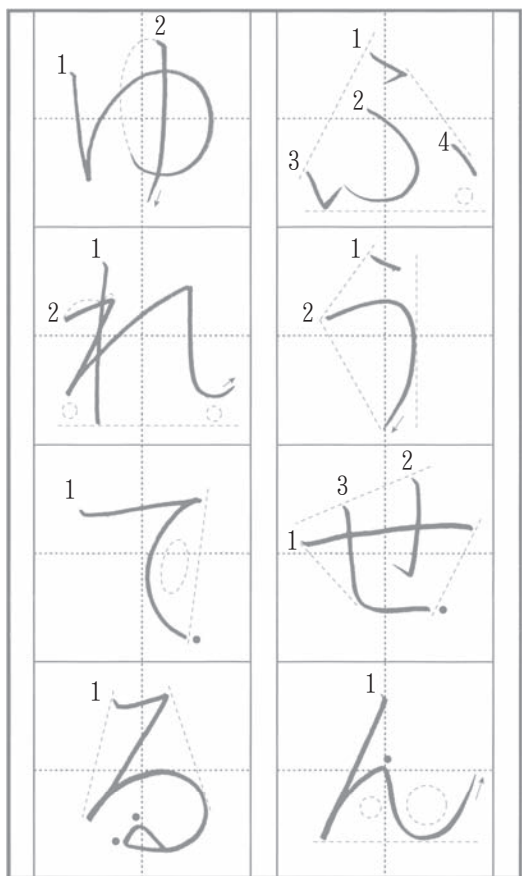
- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績（天位〜5等）は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

※検定試験三段コースを兼ねる。

半紙（334mm×240mm）

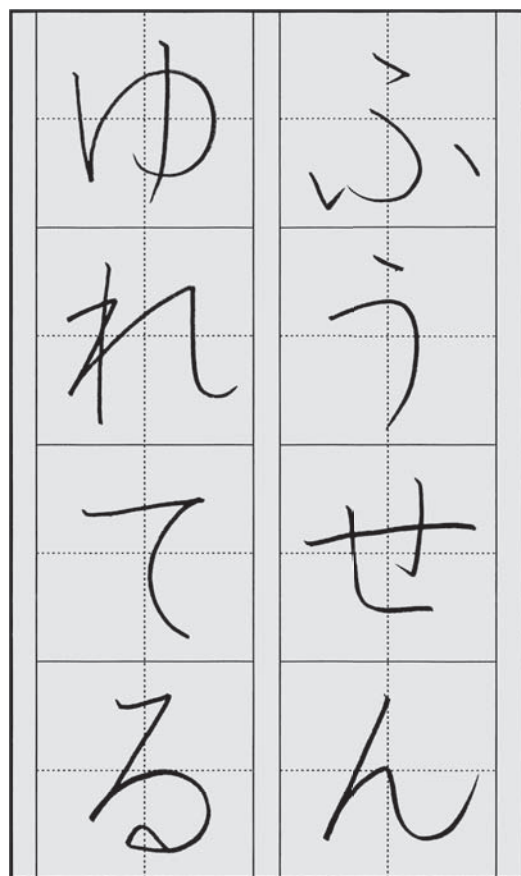
書 華 玲 田 樋

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



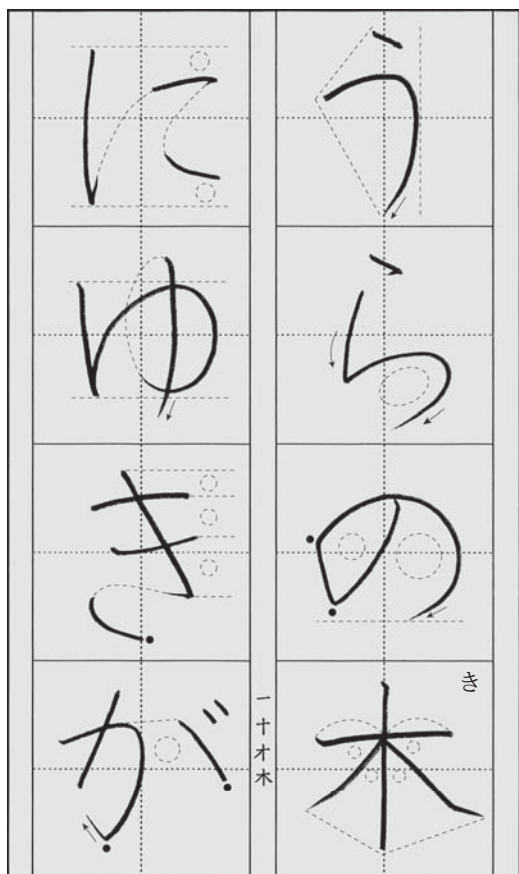
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



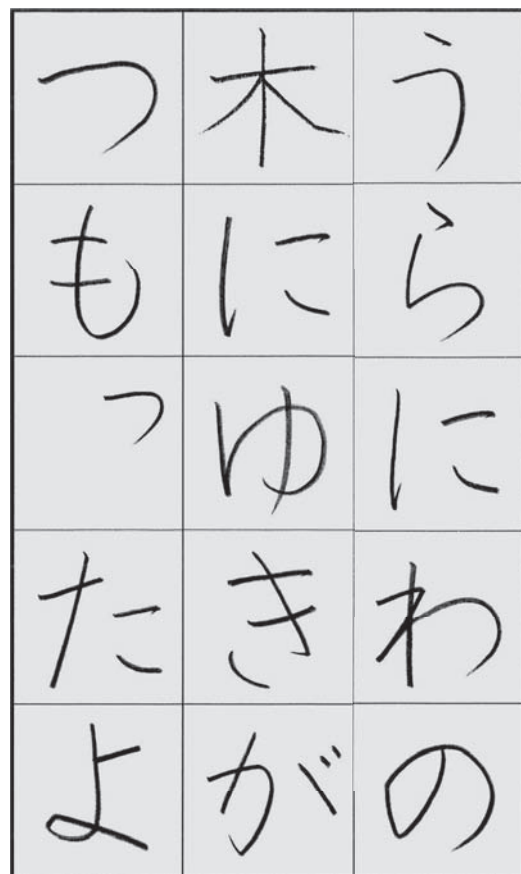
よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

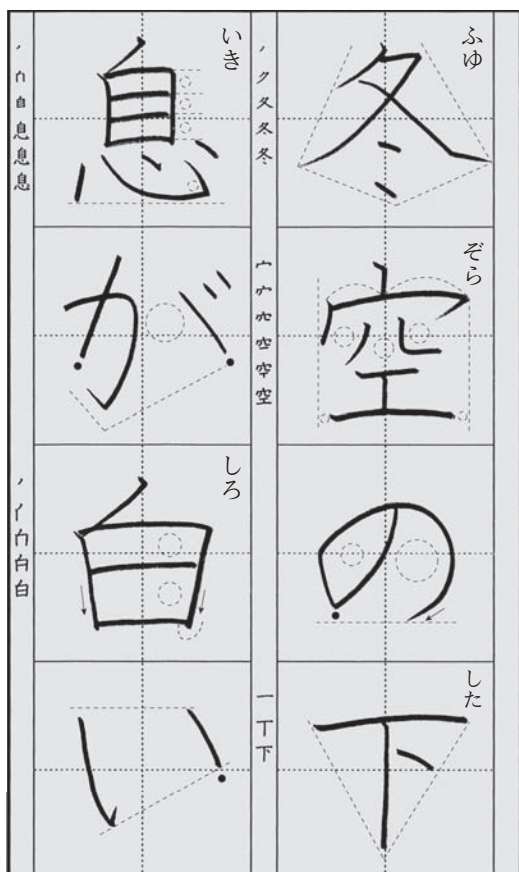


新入1級

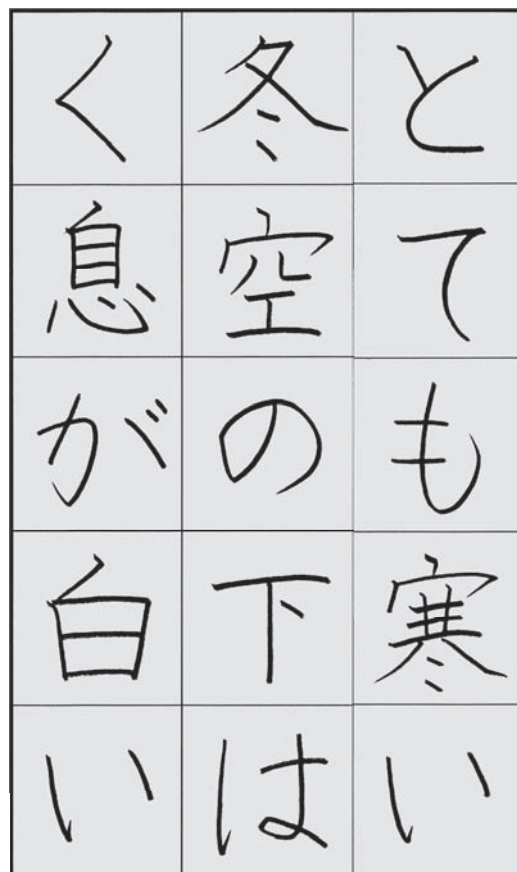


小二年

準初段以上



新入1級



小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

て	朝 あさ
氷 ヒヨウ	は
点 テン	冷 ひ
下 カ	え

新入1級

て	と	北
氷	て	国
点	も	の
下	冷	朝
だ	え	は

準初段以上

小四年以上
岡嶋桂川書

似 に	画 ガ
顔 がお	用 ヨウ
絵 エ	紙 シ
	友 とも

解説(よく見て習いましょう)

絵	だ	画
を	ち	用
か	の	紙
い	似	に
た	顔	友

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

(全員)

小六年

る	ん	専
師	で	門
走	混	店
の	雑	が
町	す	並

(全員)

※師走^{しわす}＝単語としてこのように読みます。

解説(よく見て習いましょう)

混	専
雑	門
師	店
走	並

〈用具〉自由(黒色に限る)

中一年

で	祖	離
近	母	れ
況	に	て
報	手	住
告	紙	む

(楷書)

中二・三年

(楷書)

撮	の	国
影	前	宝
を	で	建
す	記	造
る	念	物

▼小三年以下の課題

すぎ 杉 うら 浦 けい 恵 すい 翠 書

一	い		お	明
月	が	遊	め	け
一	つ	今	で	ま
日	いた	年	と	し
	ち	も	う	て
		い		
名		っ		
ま		ぱ		
え		い		



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 12月19日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよい。

▼小四年以上の課題

おお 大 さき 崎 すい 水 しゅう 愁 書

元				賀
旦	い	ご	本	
	た	健	年	正
	し	康	も	
	ま	を	皆	
	す	お	様	
氏		祈	の	
		り		
名				



◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。







小三、小五年
水野香竹書

中二
撮記

影念

小六
の師

町走

小六・中二・三年

奥村暢之書

報

師
出す

撮
長く

走
同じくらいの長さ

影
横画は右上がりに
間隔をそろえて

近
角度と長さに注意
1 2 3

中一
報近

告況